

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5106 文学へのいざない1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	180
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	J301教室				
代表教員	津田 博幸				
担当教員	津田 博幸				
テーマと到達目標	文学をおもしろく読むには方法が必要だ。そして、おもしろく読めれば読めるほど、文学を通して文化や人間や自分自身について深く考えられるようになる。そこに大学で文学を研究することの意義がある。まずこのことを皆さんに実感してもらおうことを目指す。その上で、各自が自分の読みの方法の模索を始めてほしい。				
概要	今年度は人間と異類（動物）との関係を語る古代神話や現代の物語を構造分析という方法で読んでゆく。物語には構造がある。構造は読み手の解釈によって見出される物語内部の関係性の組み合わせである。一番単純な構造は二項対立で、たとえば善と悪との二項対立は古代の天皇の神話にも現代の『鬼滅の刃』にも見出せる。そうすると、両者は構造という抽象的なレベルでは比較できることになる。これが構造分析の最大の利点である。では、その構造分析の意義とは何か。これを人と異類（動物）という二項対立の物語を分析しながら考えてゆく。講義形式。なるべく楽しくやりたい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	石器時代の洞窟壁画と『わんだふるぶりきゅあ！』——人類的欲望				対面授業
第2回	人と鮫（または龍）との結婚——山幸彦神話。				対面授業
第3回	山幸彦神話と王権——鮫と化す人間（『日本書紀』「神武天皇」）。				対面授業
第4回	亀との結婚——『丹後国風土記』の浦島子。				対面授業
第5回	『崖上のポニョ』を構造分析する。				対面授業
第6回	人と蛇との結婚(1)——大物主神とセヤダタラ姫（『古事記』）。				対面授業
第7回	人と蛇との結婚(2)——大物主神とモモン姫（『日本書紀』）。				対面授業
第8回	大物主神と王権(1)——「出雲国造神寿詞」。				対面授業
第9回	大物主神と王権(2)——『日本書紀』「雄略天皇」				対面授業
第10回	人と蛇との結婚(3)——『風土記』の二つの神話。				対面授業
第11回	蛇・龍と大地母神・水神——仏教経典から。				対面授業
第12回	『千と千尋の神隠し』を構造分析する。				対面授業
第13回	『君の名は。』を構造分析する。				対面授業
第14回	『すずめの戸締まり』の地震表象と蛇・龍の神話的表象。				対面授業
第15回	まとめ。物語の構造分析と神話的思考について。				対面授業
成績評価の基準	全授業時数の3分の2以上の出席と課題提出を必須とする。毎回ポータルを通して課題（その日の講義内容に対する理解の確認、発展的考察・質問などを200字以上）を提出（欠席した回の課題提出は不可）。毎回の課題の評定の総計で評価する。				
履修にあたっての留意事項	・後期の「漢文学の世界」も人と異類（動物）との関係を論じるので合わせて履修してほしい。 ・オンライン授業の併用は原則として行わないが、受講者に病気等のやむをえない事情がある場合はZoom中継の視聴および講義後のZoom録画の視聴を認める。希望者は講義開始の30分前までにポータルの「授業Q&A」で申し出ること。ただし、Zoomでは教室で視聴する映像資料の中継はできない。なるべく教室での出席をお勧めする。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	T学科				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配付。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示。	参考文献(ISBN)	